



病児保育は子育てファミリーの  
新しいライフラインです

22  
2007年11月1日

## 報道関係者各位

東京都中央区新川2-5-1 PSA305  
特定非営利活動法人 フローレンス  
担当: 中村 03 - 3206 - 2604  
info@florence.or.jp



## 全国初！ひとり親家庭に病児保育レスキュー ～病児保育施設が搬送サービスに挑戦～

東京都内にて病児保育支援サービスを展開しているNPO法人フローレンス(東京都中央区・代表 駒崎弘樹)は、医療法人小坂生育会が運営する「小坂子ども元気！！クリニック」(東京都中央区月島・院長 小坂和輝、以下小坂クリニック)と連携し、同小坂クリニックの施設型病児保育所に、フローレンスモデルとも言える病児のかけつけ搬送をつなげ、新しい病児保育サービスのスタイルを試みるようになった。この事例が成功することによって、今までの施設型の限界を超えた、新しいバリエーションが生まれ、より利用者のニーズにあった病児保育サービスが提供できる期待が高まる。

これまでの病児保育施設は、あくまでも受身であり、病児が出た際には親御さんが施設に連絡を入れ、自らが直接に搬送するという手順であった。しかし、この新システムを導入することによって、保育スタッフが病児のご家庭にお子さんを迎えに行き、そのまま同施設でお預かりする、或いは急な保育園での発熱にも、電話連絡のみで、後は保育スタッフが搬送・お預かりをする、という仕組みを設けており、今までにない、親の負担を軽減する画期的なサービスとなっている。

実施にあたっては、フローレンス独自の病児保育サポートシステム「子どもレスキューネット」を下敷きにして、既存のマニュアルやフォーマット、お預かりのノウハウを協力関係者に移植。研修・実習のトレーニングを経て研鑽を積んだ後、小坂クリニックにて本格的な始動となる。利用対象者は中央区内で、ひとり親家庭から希望者を募っていく。実際のお預かりは会費をもらわず実験的に施行される。

病児保育施設の新しい可能性を追求し、スムーズに全国に向けて普及させるため、派遣型機能を現存の施設に連結させることは、より働く親にとって子育てのしやすい環境・社会となっていくことは間違いない。いよいよ、そのための大きな一歩が踏み出される。

NPO法人フローレンスとは  
仕事と子育ての両立を阻む「病児保育問題」を解決し、  
「子育てと仕事そして自己実現の全てに誰もが挑戦できる、しなやかで躍動的な社会」を目指し発足。  
現在、東京都内12区に展開しており、会員約250世帯に病児保育サービスを提供している。

特定非営利活動法人フローレンス

<http://www.florence.or.jp>